

龍 灯

第 108 号

発行所

大阪市史跡 霊亀山 九島院
龍溪禅師墓所
〒550-0022 大阪市西区本田3丁目4番18号
TEL 06 (6583) 2725 FAX 06 (6583) 0908

発行者

第廿六代住職 奥 田 穂 積 (明勝)

当院は、
阪神なんば線で、なんばから7分の都心の禅寺です。

万博「EARTH MART」館

感謝の心「いただきます」の重み

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする『大阪・関西万博』が開催されている。会場は拙院からメトロ中央線で5駅、所要16分の夢洲だ。

「いのちとは？」「生きるとは？」「幸せとは？」など根源的な問いかけを含め、多種多様なパビリオンで発信されている。

『食を通じていのちを考える』のが、プロデューサーで放送作家の小山薫堂氏が手掛ける『EARTH MART』（アースマート）館だ。茅葺きの外観が異彩を放つ。里山の風景を思わせる温かみのある外観と一歩パビリオンの中に入ると、光や映像そして最新のフードテックを駆使して食の近未来的な空間がひろがっている。

氏は「地球全体が一つの市場」と考え、「いのちに感謝し『いただきます』という言葉を変えて大切にしたい」という言葉を改めて大切にしたくなるパビリオンをつくり上げた。

禅道場では食事の前には『五観の偈』を唱える。

五観の偈

一つには功の多少を計り彼の来処を量る（この食物が食膳に運ばれてくるためには、幾多の人々の労力と神仏の加護がある事を思い感謝する）
二つには己が徳行の全欠と付って供に应ず（自分の修行がこの食物をいただくにあたりふさわしいものであるのかどうか省みながらいただきます）

三つには心を防ぎ過食等を離るるを宗とする（食物だけでなく私たちは貪る心を起こさないようにします）
四つには正に良薬を事とするは、形枯を療ぜんが為なり（今この食物をいただくのは良薬としてこの身が枯死するのを治さんとする為です）
五つには道業を成ぜんが為に当にこの食を受くべし（私たちは仏弟子として正しい生き方を全うする為に、今、この食物をいただきます）

私たちは人間は、生きていく為に食物は欠かすことができない。生き物の『いのち』をいただいて生きていく。

このパビリオンの『いのちのフロア』では、「たった一つのいのちをつむぐ為にどれだけいのちが必要なのか、1匹のイワシが産む卵10万粒のうち、成長後に人に漁獲されるのは0.01%で10匹程度で、さらにその7割は養殖用の餌などになり、食卓に並ぶのは僅か3匹」という。

世界人口と食料需要はいずれも右肩上がりであり食糧危機が懸念されている。「一つの命を守るためにいたいどれだけの命をいただいているのか。その重みや責任を感じた時、自分の生き方も少し変わり日常の食への感謝もより深まる」とはプロデューサーの小山さんの弁。『五観の偈』の精神そのものだ。



東海道五十三次漢詩の旅

○宮(熱田神宮)41

薨去武命經幾年
陰陰老樹覆蒼天
永祀寶劍熱田廟
剛勇參宮得勝緣

(大意) 日本武命(やまとたけるのみこと)が薨去し幾年がたったろう。老樹が生い茂り青空を覆っている。熱田神宮は永く草薙の宝剣を祀る熱田神宮の廟、織田信長も参宮し桶狭間の合戦で勝利した

宮宿は熱田神宮の門前町。熱田神宮は9万坪の敷地、三種の神器の一つ草薙剣をご神体とする。日本武尊がお妃の宮寶媛命(みややすひめみこと)のもとに神剣を留め置き伊吹の能褒野で薨御されたので熱田に祀る。信長も桶狭間合戦で戦勝を祈った。

○桑名(宝曆治水)42

忠義薩摩何可疑
艱難辛苦水流青
自裁靱負有遺詠
油島神祠傳慘悽

(大意) 薩摩藩士の忠義をどうして疑うことができよう。艱難辛苦のすえ木曾三川を分流させ整えた。自刃した薩摩総奉行平田靱負の遺詠がある。油島の治水神社は宝曆治水工事の悲しみを伝えている。

木曾三川(木曾川・長良川・揖斐川)の合流で洪水が多い為に、宝暦3年(1753)幕府は薩摩藩に河川改修を命じた。総奉行平田靱負のもと島津藩士千人が御手伝普請にあたった。必死の働きで1年余り総延長約百十キロの堤防で分流させた。病死者・切腹者など多くの犠牲と莫大な費用の責任をとり靱負は自刃した。

○四日市(題広重三重川図)43

那古浦邊帆船浮
葭菻柳揺景還幽
回風捲地忽吹散
旅服飄然令客愁

(大意) 那古浦邊に十里の渡しの船が浮かんでいる。河口の葦がざわつき柳の大樹がなびきほの暗くなつた。つむじ風が地面に捲きあがり、たちまちすべてを吹き散らす。旅の合羽をなびかせ旅人を思い悩ませる。

湊町として伊勢参宮道の分岐点湊辺りを古くは那古浦といい、春夏には蜃気楼がたち伊勢大神宮が熱田宮への神幸だとされた。文明2年(1470)浜田城が築城された頃より、毎月四の日に市が開かれ「四日市」の名がついた。万古焼の創始者と藤堂高虎の「武運のながき餅を食うは幸先よし」のなが餅が有名。

○石薬師(石薬師寺)44

清風颯颯暮雲收
藁塚耕人万里秋
石薬師邊尋古刹
大師石佛在深幽

(大意) 爽やかな風がさつと吹き、夕方の雲が晴れた。高く積まれた藁塚や野良を耕す姿見渡す限りの秋。石薬師寺にある古刹を尋ねた。弘法大師が刻んだ石佛は秘仏として深く隠してある。

ひなびた宿場。石薬師寺は神亀3年(726)白山の開山泰澄が巨石が出現するのを目撃し薬師如来の示現であると草堂を建て延暦15年(796)に弘法大師がこの霊石に如来像を爪で刻み本尊とした。厄除けの秘仏として参勤交代の諸大名がこぞって参詣した。

○庄野(題庄野白雨図)45

猛雨斜斜動地來
遊人駢散激風回
竹叢搖搖天如墨
漠漠煙封庄野隈

(大意) 土砂降りの雨が横殴りに大地を震わせて降ってきた。旅人は駆け散じ激しい風が舞ってくる。竹叢が左右に揺さぶられ空は雨しぶきに煙り墨のようだ。庄野の辺は霧に覆われてひっそりしている。

広重の最高傑作『庄野白雨』(竹藪が生い茂った坂道に急な雨、慌てて雨宿りを求め駆け出す旅人や駕籠が描かれる)近くに日本武尊の白鳥塚や『おろしや国粹夢想』の大黒屋光太夫(漂着しロシアに辿り着いた)の生誕地もある。





檀信徒の皆さまへ

大盛況 九島院マルシェ

開催日…5月18日(日)

『九島院マルシェ&お寺deヨガ』
今年も気持ちのよい天気の中、毎年恒例の『九島院マルシェ&お寺deヨガ』を行いました。

老若男女問わず集える場所としてのお寺。お檀家さんも、地域の方々も、小さい子どもや年を重ねた大人も、誰もが足を運べるお寺になれるようにと企画したこのイベント。当日も含め、当日を迎えるまでに、多くの方々のご協力によってたくさんの方々にお声かけをしてもらったおかげで、お店は全部で12店舗も九島院に集まり、多くの来場者で大変賑やかな一日となりました。

加下さつての開催でした。

キッチンカー(クレープ)、新鮮野菜、手作りパン、アクセサリー、究極の大阪ソース、キーホルダー作り、ミニモルックのワークショップ、万福寺商品、九島院Tシャツ、バザー品、東北・能登半島支援物産品、変わり種ロウソク、お線香などなど、様々なお店、様々な商品が並びました。

九島院にお越しいただいたすべりの方々、本当にありがとうございました。

また来年も賑やかに開催します。来年は5月17日に行います。(住職)

今年もトマト刑事
トマトインさんに来て頂き、会場を盛り上げて頂きました。
たくさんの方々足を運んで頂き本当に楽しい一日を過ごせました。みなさん、ありがとうございました。
お寺deヨガにも定員いっぱいとなるほど、早くから申込みを頂戴して、23名以上がご参



行事報告

3/23…山門会(春彼岸法要)
↓参加者20名

3/28…写経会 ↓参加者2名

行事予定

はじめての坐禅
開催日 6月28日(土) 15時〜17時
13回目の開催です。誰でも参加OK。

永代供養墓 盆回向
開催日 8月23日(土) 19時
永代供養墓合祀者への盆供養法要。

お地藏さんご回向
開催日 8月24日(日) 15時
すいか割りショーとのコラボです。
※例年と違い日程を変更しています

写経会
開催日 9月27日(土) 15時
(申込制)

お寺deヨガ&
トマトインヒーローショー
開催日 10月26日(日) 14時
(申込制)

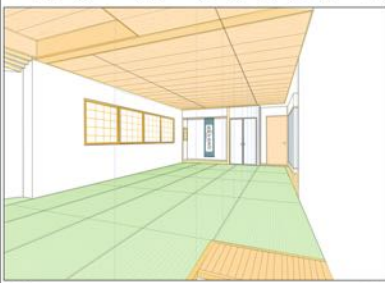
修養会(日帰りバスツアー)
開催日 11月2日(日)
(行先…河内長野 観心寺など)

詳細は当院HPをご確認ください。

会館2階リフォーム工事

前回の新聞でもお知らせしましたように現在、会館2階をリフォーム工事中です。工事期間は7月末日まで。工事期間中、騒音などでご迷惑おかけしますが、ご了承下さい。なお、慈光堂へのお参りは可能です。

お寺の行事や文化教室の使用、葬儀での宿泊まりもできるようにシヤワー室を完備。お寺スペースを拡張し、様々な方に使用して頂くように致し、檀信徒の皆様のご理解下さい。



会館2階完成イメージ図

永代供養墓 大亀地蔵尊

当院が永代に管理供養し、無縁仏とならないお墓で、遺族・ご家族にも安心して頂けます。

- 宗賢・宗派は問いません
- ご縁のある方のご遺骨をお預かりの方
- 墓地を整理してお骨を移したい方
- お墓の継承者がいない方

永代追加金
一室 30万円/二室 50万円
併せて永代追加金(1方〜5万円)が必要となります。(管理料は不要)

黄泉宗(神)
雲亀山

TEL. 6583-2725

新規境内墓地もあります

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。

九島院のフェイスブック・インスタグラムを作りました！検索してみてくださいね！

お知らせ

檀家総代退任 早田美智子様 (令和7年2月13日付)
永きに渡り、住職及び九島院を支えて頂いたこと、
この場をお借りして御礼申し上げます。

編集後記

▼今年の1月下旬に起きた八潮市の道路陥没
事故に巻き込まれたトラックの運転手さんも
漸くご遺体が5月になって運び出された。痛
ましい限りだ。

● さようなら -CC犬ファール- ●

2月12日午前5時40分、CC犬(キャリアチェンジ)ファール(享年15歳11ヶ月)が旅立った。わが家に来て13年足らず。一昨年末12月に亡くなった引退犬クワン(16歳4ヶ月)の後を追いかけるように逝ってしまった。

ゴールデンリトリバーのリョウ(10歳10ヶ月)が亡くなった翌年、当時は39キロという巨漢で躊躇したのが縁あって引き取った。猫嫌いが幸いしたのか？盲導犬になれなかった犬。おとなしくクールで控えめな性格で、他の2匹とも自然な形で過ごしていた。

老生が引退し時間に余裕ができたので、毎日の犬との公園めぐりが日課となった。時には大山・伊勢・淡路島への旅行にも行ったが、寄る年波で自然と近場の公園めぐりが日課となった。昨年4月には同胎犬のフーガに会いに徳島へ行った。フーガはその年の12月に亡くなった。

人間に換算すると110歳。高齢犬は人間以上に日々弱ってくる。度重なる病院通い、痴呆による徘徊と失禁、ろくに寝れない介護生活。ファールの生きた証を残そうと、クワンのように『CC犬デッカイファール日記』を綴りInstagramにアップしてきた。16歳の誕生日3月10日を目標に家内とリュウ(保護犬14歳ミニチュアダックス)と力を合わせて世話をしてきた。

残念ながらあと一月だった。短い春・酷暑の夏・あつという間に過ぎ去った秋・そして別れの冬…。ファールもわが家に来て幸せだったと自負している？。散る桜残る桜も散る桜 (良寛)

犬の一生は人間の7倍のスピードで過ぎ去る。飼う犬と一緒に見る桜は、今生で一緒に見れる最後の桜かもしれない。クワンも開花を見れなかったように、ファールもその『クワン桜』の開花を見ることが出来なかった。

産経新聞朝刊の『朝の詩』に「犬の死」と題する詩が載っていた。

もう、早起しなくていいし、寒い中散歩に行かなくていい。ドッグフードも買わなくて済むし、高い注射代を払う必要もない。アレルギー性鼻炎に悩まされることもないし、時間を気にせずいくらでも残業できる。そして、毎日がトテモサミシイ。



水灯会 (お施餓鬼法要)

8月19日(火)午後1時半より

※ご先祖供養。宗旨に関係ありません。
ご回向お申込み下さい。法話：住職

大亀地蔵尊盆

8月23日(土)午後7時より

※永代供養墓埋葬者供養の法要※

ご案内

九島院の公式LINEアカウントを作りました！

▼上下水道管の老朽化による事故は各地で相次いでいる。排水管からの水漏れが地中の土砂を流し空洞を作り陥没の原因となるそうだ。▼拙院でも龍燈会館の下水道が詰まり、調べると会所のモルタルが裂けて水漏れし、会所と排水管に段差ができたことが原因だった。▼龍燈会館も竣工して32年、そこかしこで老朽化が目立つ。目下、会館の大改修工事中だ。(閑栖記)

▽今年も開催した『九島院マルシェ』。今年は気持ちのよい天気でした。沢山の人がご来院頂き楽しい一日を過ごすことができました。

▽ここ最近、人気沸騰中のトマト刑事トマティーンに

今年も『九島院マルシェ』を盛り上げてもらいました。地蔵盆の時にはスイカ割りショーをして頂きます。

▽趣味のランニングは停滞中です。2月大阪マラソンでは、あまりの足の重さに耐えきれず、歩いてしまった結果、3時間19分38秒と自己ベストには遠く及ばず。しかしながら、沿道でもネットでも檀家の皆さまに応援してもらえたことは、とても力になりました。来年も大阪マラソン走ります！是非、私を応援して下さい。

▽今年度より、長女：大学生、次女：高校生、長男：中学生とそれぞれが自分の進むべき道に向かって頑張ってくれています。親としては、子どもの将来は氣になります。自分と道を切り開いてくれることを願います。今年のPTA活動は一旦お休みします。(住職記す)

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。